

入札公告・入札説明書一体化について

令和5年8月

みち、ひと…未来へ。



1. 導入目的と実施時期

■目的

更なる可読性向上及び視認性向上

■課題及び対応

課題①: 別冊としている「入札公告」「入札説明書」双方で生じていた記載の重複によって本文の文量が増え、可読性が低下

→対応: 「入札公告」と「入札説明書」を一体化し、可読性向上へ

課題②: すべての案件に共通する事項の記載(例: 総合評価落札方式など)が各ページに分散し、可読性が低下

→対応: 項目「用語の定義」に集約記載し、可読性向上へ

課題③: 手続きにかかる日程(提出期限など)が各ページに分散し、全体日程が把握しづらいものに

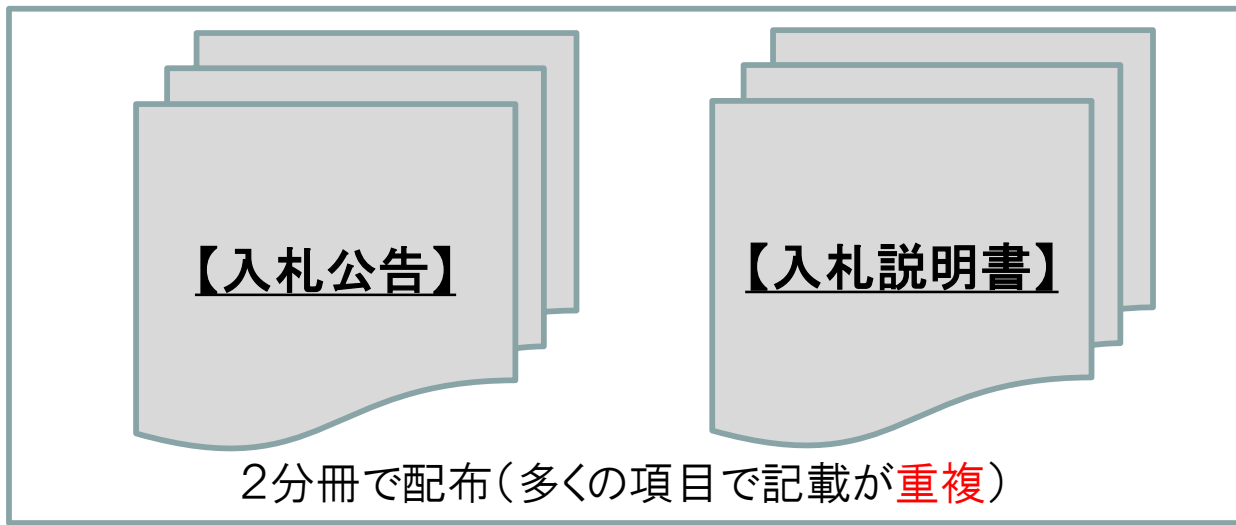
→対応: 項目「手続きに関する日程」に集約記載し、全体スケジュールの視認性向上へ

■実施時期

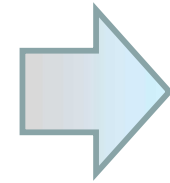
令和5年9月1日以降に公告する工事、調査等及び維持管理役務(施工管理業務)

※一体化した「入札公告・入札説明書」のサンプルを当社HPに掲載しておりますので、ぜひご覧ください

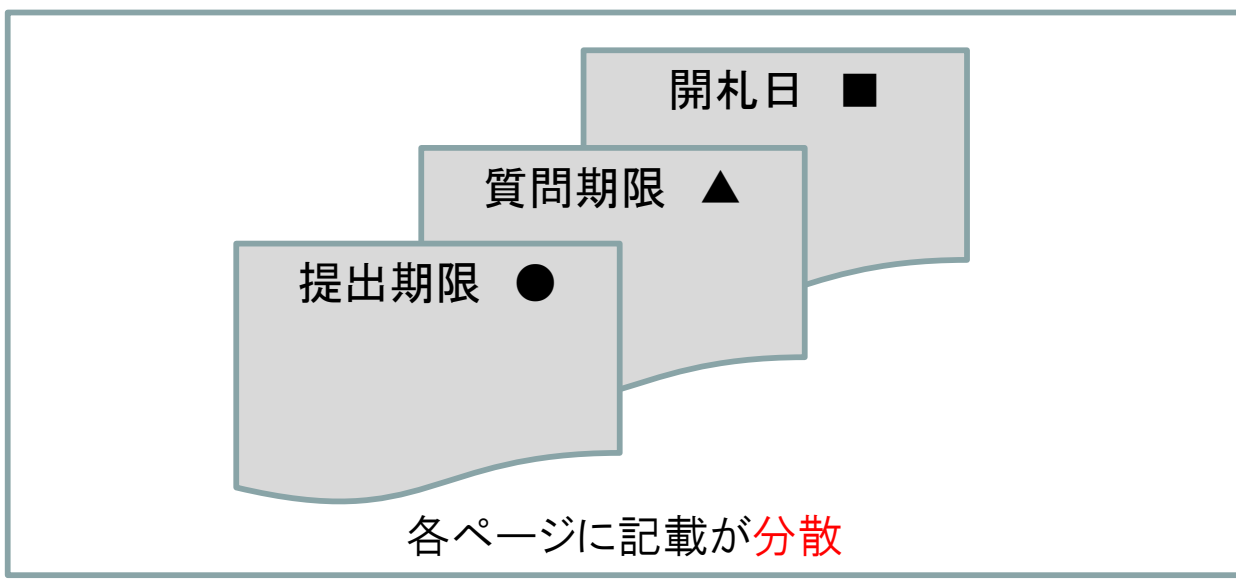
2. 一体化イメージ



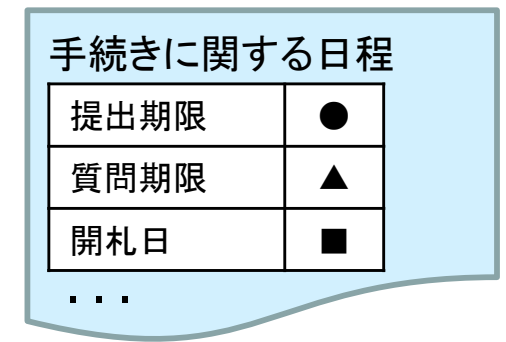
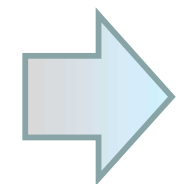
一体化



配布資料(ページ数)が減り、読む文量が少なくなります。



集約※



手続きに関する日程を一覧表として集約することで、全体日程を把握しやすくなります。

※同様の観点から、すべての案件に共通する事項を「用語の定義」に集約